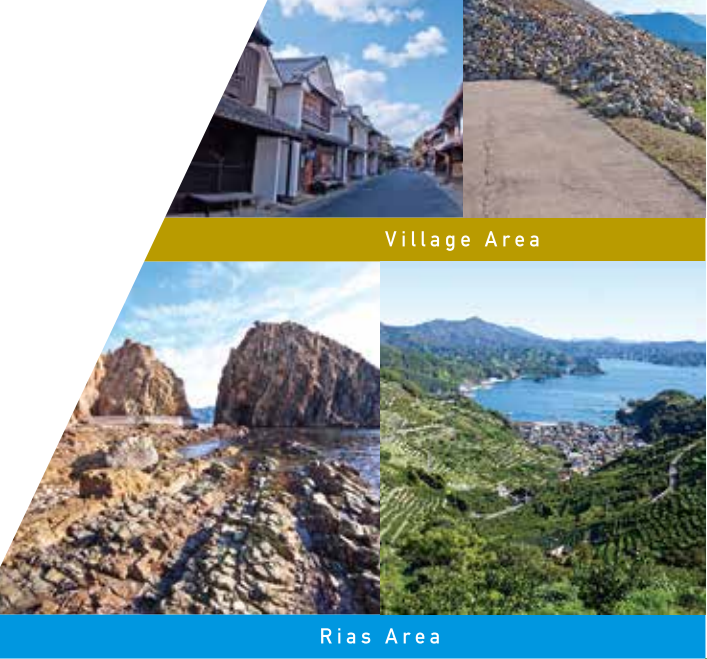


# SHIKOKU SEIYO GEOMAP

## 四国西予 ジオマップ

四国山地と宇和海が育んだ  
海・里・山・4億年の物語



西予市までのアクセス



西予市

各都市からのアクセス

|     |                                                |           |         |
|-----|------------------------------------------------|-----------|---------|
| 札幌  | 飛行機で約2時間10分※直行便(4月〜10月)<br>飛行機で約3時間30分※羽田空港経由  | JR<br>松山駅 | 西予市宇和地区 |
| 東京  | 飛行機で約1時間20分                                    |           |         |
| 名古屋 | 飛行機で約1時間                                       |           |         |
| 大阪  | 飛行機で約50分・JRで約4時間                               |           |         |
| 岡山  | JRで約3時間・車で約3時間                                 | 松山駅       | 西予市宇和地区 |
| 広島  | 高速船で約1時間10分・車で約2時間50分                          |           |         |
| 高松  | JRで約2時間30分・車で約2時間                              |           |         |
| 徳島  | 車で約2時間30分                                      |           |         |
| 高知  | 車で約2時間                                         | 松山駅       | 西予市宇和地区 |
| 福岡  | 車で約6時間                                         |           |         |
| 大分  | 車で約2時間<br>船で約2時間15分(日特運より)<br>船で約2時間50分(別府港より) | 八幡浜港      | 車で約30分  |

西予市内のアクセス



西予市

西予市内交通機関

|              |         |
|--------------|---------|
| JR           | 西予市宇和地区 |
| JR卯之町駅       | 西予市宇和地区 |
| バス           | 西予市宇和地区 |
| 宇和島自動車卯之町営業所 | 西予市宇和地区 |
| 明浜地区         | 西予市宇和地区 |
| 明浜タクシ        | 西予市宇和地区 |
| 三瓶地区         | 西予市宇和地区 |
| 二ツ谷地区        | 西予市宇和地区 |
| 宇和地区         | 西予市宇和地区 |
| 卯之町タクシ       | 西予市宇和地区 |
| つばめタクシ       | 西予市宇和地区 |

一般社団法人SGS

TEL:0894-89-3126

〒797-0015 愛媛県西予市宇和町卯之町丁目668番地7

発行:四国西予ジオパーク推進協議会 http://seiyu-geo.jp/

# 私たちの ルーツをたどる旅。

## 変わりゆく大地。変わらない原風景。

ジオとは大地のこと。大地の成り立ちとそこで育まれた自然や生態系、人々の暮らしを九ごと感じることができる「大地の公園」がジオパークです。

西予市には、日本列島誕生期の貴重な地質や海・里・山における昔ながらの人々の営みの記憶が残ります。

私たちが住む日本列島は、どのようにつくられたのだろうか？ 私たち日本人の祖先は、どのような暮らしをしていたのだろうか？ そんな疑問に答えてくれます。

西予市内のジオサイトをめぐれば、日本のことを、地球のことを、そして自分自身のルーツを強く意識できるはずですよ。

○ジオパークの考え方「大地」と「自然」と「人々の営み」のつながり

標高差1,400mの原風景と大地に生息する動植物

自然(多様な生態系)

大地(多様な地質と地形)

人々の営み(多様な暮らし)

大地を活かした人々の知恵と町並み・遺跡

## 黒瀬川構造帯の謎

## 全ては、ここから始まったのかもしれない。

日本列島の地質は約2億5,000万年前から始まる中生代より新しい地質がほとんどですが、城川地区を流れる黒瀬川流域の地質からは約4億年以上前のサンゴ類や三葉虫の化石が発見されています。この本格的な調査が、日本で初めてこの地域で行われたため、「黒瀬川構造帯」と名づけられました。

■約4億年前の Gondwana 大陸

その成り立ちには諸説ありますが、かつて南半球には、現在のインド大陸やオーストラリア大陸などがひと固まりになった「Gondwana 大陸」が存在していました。黒瀬川構造帯もその一部で約1億5,000万年前にアジア大陸の東の端に移動してきたと考えられています。

■黒瀬川構造帯で見つけた、ハチノスサンゴ

約4億2,500万年前に暖かい海でつくられたとされるその化石は、オーストラリアや南中国のものと同種が多いことから、黒瀬川構造帯が Gondwana 大陸の一部であったという裏付けの一つとなっています。

## ■総延長1,000kmにも及ぶ黒瀬川帯

黒瀬川構造帯とそれに関連する地層(黒瀬川帯)は数kmの短い幅で、西は九州から東は関東まで続き、総延長は約1,000kmにも及びます。もともと1つのかたまりだった古陸が大規模な地殻変動によって現在のような細長い構造帯を形成したと考えられています。

## 四国西予ジオパークで特徴のある地質が見られる場所を紹介します。

G1

下相の海底地すべり跡(黒瀬川エリア)

西予市城川町下相1015-1 33°22'48.4"N 132°44'56.9"E

黒瀬川の河床には、深い海の底でたまった泥岩の中に石灰岩のブロックが取り込まれています。石灰岩にはサンゴや貝などの化石が含まれており、浅い海でできたものです。地震などの原因で陸から海底にもつて岩石が大きく移動したことがわかる場所です。

G5

中津川のトッファ(黒瀬川エリア)

西予市野村町古市2558 33°22'52.7"N 132°46'58.1"E

「トッファ」の語源はラテン語で「小さな穴があいている白い石」という意味。石灰岩をたくさん含んだ水から、急速に炭酸カルシウムが沈殿してできた岩石で、堆積には微生物の活動が関係しているといわれています。

V4

大和田橋付近のかめ穴(畠川上流エリア)

西予市野村町大田3-3 33°23'48.9"N 132°40'17.4"E

畠川沿いには、黒瀬川構造帯を構成する岩石である四国最古の火成岩類や石灰岩などが観察することができます。また、小石と急流により形成された小さなかめ穴という地形を観察することができます。

K3

寺山の枕状溶岩(四国カルスト・舟戸川エリア)

西予市野村町大野ヶ原436-2先 33°29'14.1"N 132°53'42.2"E

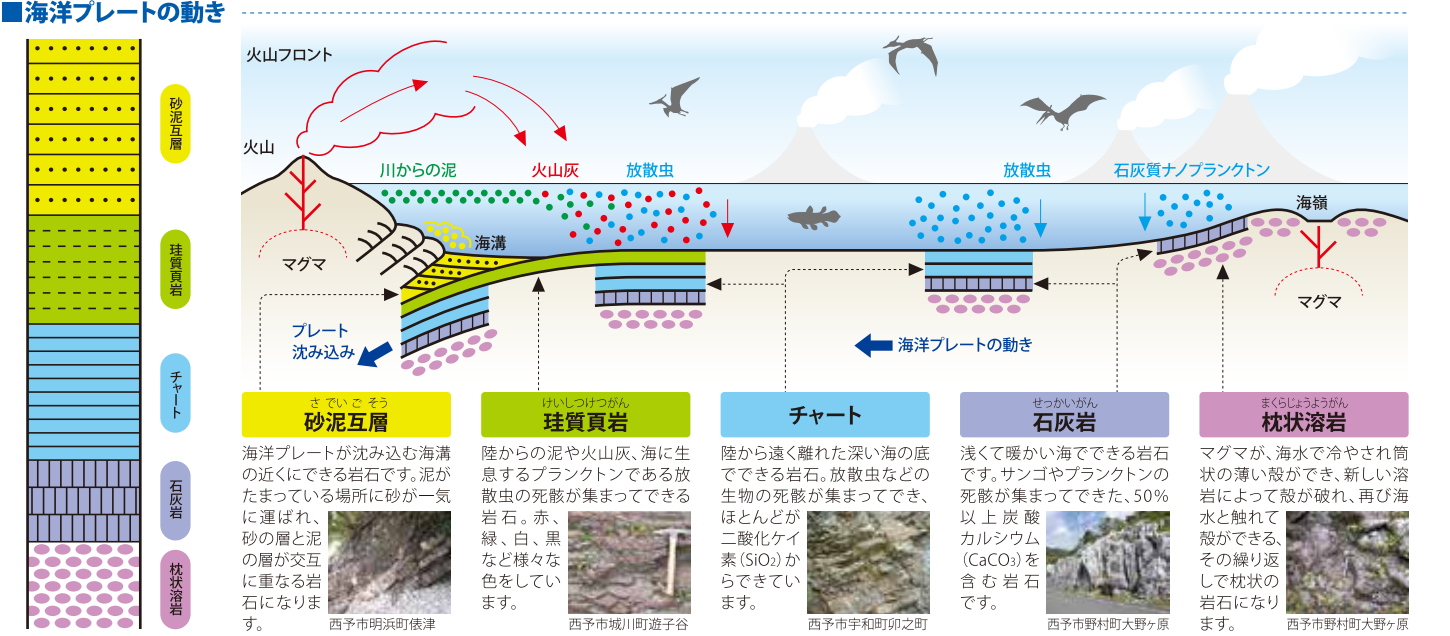
四国カルスト石灰岩の下位地層にあたる玄武岩。この玄武岩は海底火山が噴火し、水中に流れ出た溶岩が急速に冷えて固まりつくられました。枕を重ねたような形をしているので「枕状溶岩」といわれます。

## 移動する海洋プレートと西予の地質

## 西予市はその昔、海の底だった。

例えば西予市で最も高い標高1,400mにある野村地区大野ヶ原の四国カルスト。緑のじゅうたんが広がる景色のなか点に点在する白い石灰岩は、暖かいサンゴの海から運ばれてきた地層です。西予市に限らず日本列島の多くの大地は、海洋プレートが移動し沈み込む際に陸側に押し上げられ、つくられたと考えられています。特に西予市では多様な地層を観察することができ、過去の海洋プレートの情報を知ることができます。

海洋プレートの動き



砂泥互層

珧質頁岩

チャート

石灰岩

枕状溶岩

## ■西予市の大地の成り立ち



西予市

海洋プレートの動きによってできた地質は、形成された年代や特徴によって区分されます。西予市に主に分布しているのが中生代のジュラ紀に形成された秩父帯です。そしてこの秩父帯の中にある、他とは全く異なる地質が黒瀬川構造帯です。黒瀬川構造帯は秩父帯よりはるか昔の古生代に形成され、地質を構成する岩石も他とは異なります。なお、秩父帯は黒瀬川構造帯とそれに関連する地層(黒瀬川帯)を境に北帯と南帯に分かれます。

## ジオ満喫 オススメコース

ルート:北部宇和海エリア

移動時間 110分

穏やかな陽射しに包まれながら、宇和海の絶景満喫コース

野福峠やさざが岳からは、深く入り込んだリアス海岸の絶景を眺めることができます。狩浜の段々畑では、爽やかな柑橘の香りと穏やかな太陽の陽射しを楽しみながら散策できます。

さざが岳 車で15分

須崎海岸 車で60分

大津のリアス海岸 車で15分

狩浜の段々畑 車で20分

野福峠 車で20分

ルート:畠川上流エリア

移動時間 35分

ジオの恵みを活かした人々の暮らしと歴史を辿るコース

宇和盆地では堆積岩の一種であるチャートを利用した石積みや河川、民家を眺めることができます。宇和盆地の稲作風景や野村地区の養蚕など人々の足跡を辿ることができます。

ほわいランド 車で5分

桂川渓谷 車で5分

野村ルックポイント 車で10分

名水百選 車で15分

卯之町の町並み 車で15分

ルート:黒瀬川エリア

移動時間 45分

奥伊予の原風景と大地の神秘を感じるコース

標高1000選に選ばれている田穂の棚田。近くには茶室もあり、心豊かな奥伊予の時間を過ごすことができます。また貴重な化石の数々は、躍動し続ける大地を再認識させてくれます。

六神洞 車で20分

四国立地蔵堂(三浦谷) 車で5分

奇岩山 車で10分

ギョーリ(しるがわ) 車で10分

棚田の町並み 車で10分

ルート:四国カルスト・舟戸川エリア

移動時間 70分

天空へとつながる大地で、思っきり深呼吸コース

河川の働きによってできたV字谷と河成段丘の景色は圧巻。さらに標高が高い源生林では、高原の爽やかな風が吹き抜け、木々の緑に癒されます。

ブナの原生林 車で10分

源生林 車で30分

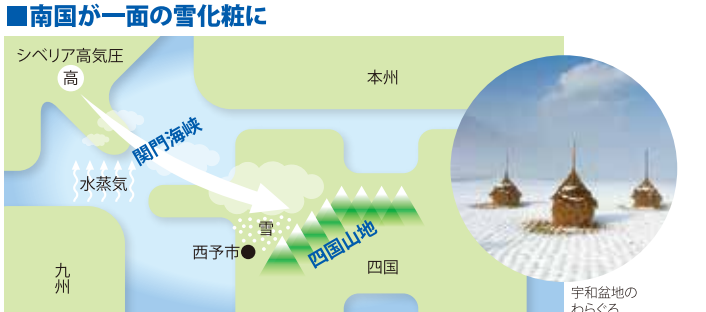
羅漢六 車で20分

茅渚民家全館(土居家) 車で20分

小振のV字谷 車で20分

## 西予市の地形と気候風土

■南国が一面の雪化粧に



シベリア高気圧

本州

九州

西予市

四国山地

宇和盆地のわらぐ

南国四国でありながら西予市の間門部はしばしば銀世界に覆われます。こうした気候を演出しているのが四国カルストをはじめとした四国山地です。冬、大陸で発達するシベリア高気圧。そこからの北西の季節風が中国地方と九州地方の間門海峡を抜け四国山地にぶつかり、南予地方の間門部ではしばしば雪が降ります。

■朝霧による幻想的な光景



野村タムの朝霧

畠川上流の野村盆地や宇和盆地では秋から冬にかけての良く晴れた朝、幻想的な朝霧に覆われることがよくあります。寒暖の差が大きい盆地では、夜間に地表付近の空気が冷やされて飽和し、霧が発生します。山に囲まれた盆地は風が弱いので、朝まで霧が残ることが多く、さらに中心部を流れる畠川からも多くの水蒸気が供給され、霧の発生を後押しします。

■おいしい柑橘を育む3つの光



太陽から

石垣から

海から

潮風

宇和海に面する明浜地区や三瓶地区の段々畑で育まれる柑橘類。そのおいさを育むのが3つの光です。1つ目は燦々と降り注ぐ太陽の光。2つ目は段々畑の石垣からの照り返しの光。3つ目は目の前に広がる海からの照り返しの光。こうして様々な方向からの太陽の光と、海からの潮風によってコクと酸味のバランスのとれたおいしい柑橘に育みます。

標高差1,400mの原風景とその恵み

海抜0mから標高1,400mまで多彩な自然に恵まれた西予市。そこには昔ながらの手つかずの風景と、その自然の恵恩に感謝し、心豊かに暮らす人々の姿があります。

■自然(ジオ)の恵み

大野ヶ原大根

大野ヶ原(四国カルスト) (MAP 1-K)

四国最古の放牧地帯で、大野ヶ原の人口の9倍にあたる約800頭の牛が飼育されています。

シイタケ

豊かな自然環境とクヌギの原木で育まれたしいたけは、風味、食感、味ともに格別です。

奥伊予栗

栗栽培に適した奥伊予地域で育まれた和栗は、色・味・風味ともに優れています。

乳製品とスイーツ

地元産搾りたての牛乳を使用したアイスクリームやチーズはどれも新鮮で絶品です。

宇和米

米どころとして知られる宇和盆地では盛んに米作りが行われ、古代米も生産しています。

しし肉

捕獲された猪を「里の暮れん坊」で商標登録し、精肉や加工品として販売しています。

ブドウ

山間盆地の気候が美味いブドウを育みます。初夏になると多様な品種が出荷されます。

みかん

南向きの急傾斜地を利用して育てられたみかんは、糖度が高くジュシーな味わいです。

海の幸

天然のアジをはじめ、ハマチやヒラメ、タイなどの養殖、ちりめんの産地として有名です。

■原風景と文化

大野ヶ原(四国カルスト) (MAP 1-K)

四国最古の放牧地帯で、大野ヶ原の人口の9倍にあたる約800頭の牛が飼育されています。

ヤマアジサイ(雨色山) (MAP 2-J)

雨色山には水色やピンク、紫色のヤマアジサイが群生しており、7月頃に見頃を迎えます。

川津南の茶念仏 (MAP 3-J)

今年に亡くなった方の法要に合わせた念仏踊り、読経と焼香に合わせた茶念仏を行います。

茶室とお接待

旅人に飲食をふるまうことで自分も功德を積む場でもある茶室。お接待文化が宿ります。

明石寺とお遍路 (MAP 3-D)

四国霊場八十八ヶ所43番札所の明石寺には、年間を通じ白装束のお遍路さんで賑わいます。

コウノトリ

秋から冬にかけて宇和盆地に飛来します。西予市では餌の確保など保護に努めています。

卯之町の町並み (MAP 3-D)

白壁、うだつ、持ち送りなど伝統的な建築様式の町家が当時の姿のままに残っています。

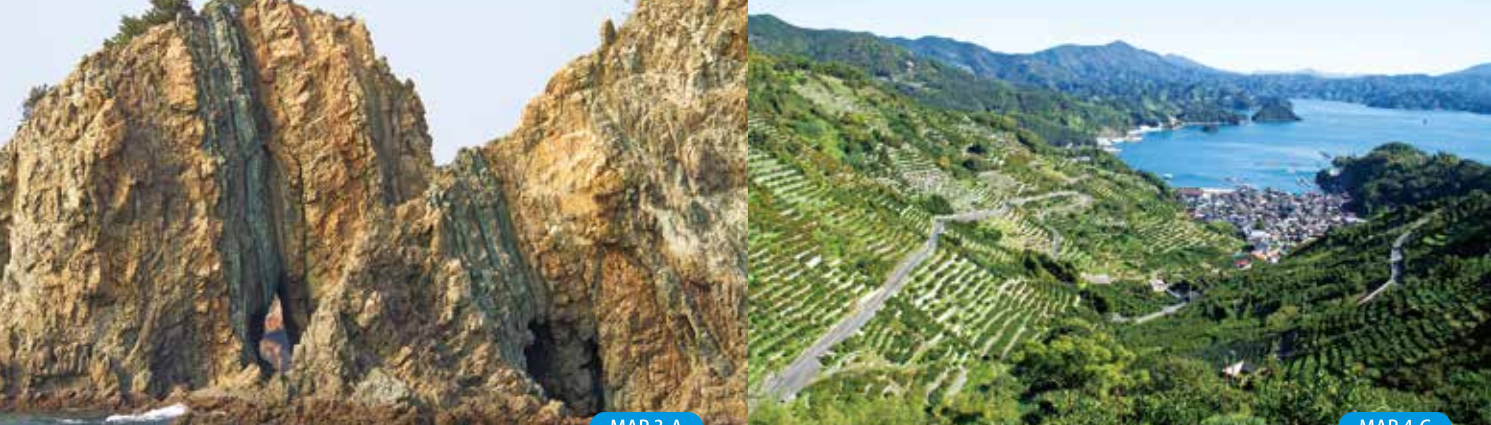
野村乙亥大相撲 (MAP 3-G)

江戸時代に発生した大火災を機に行った火鎮祈願相撲が始まり、160余年の歴史があります。

宍谷の潮垢離 (MAP 4-C)

木を高く積み上げてかき火を焚き、横にたいた若者が冷たい海で身を清める勇壮な儀式です。

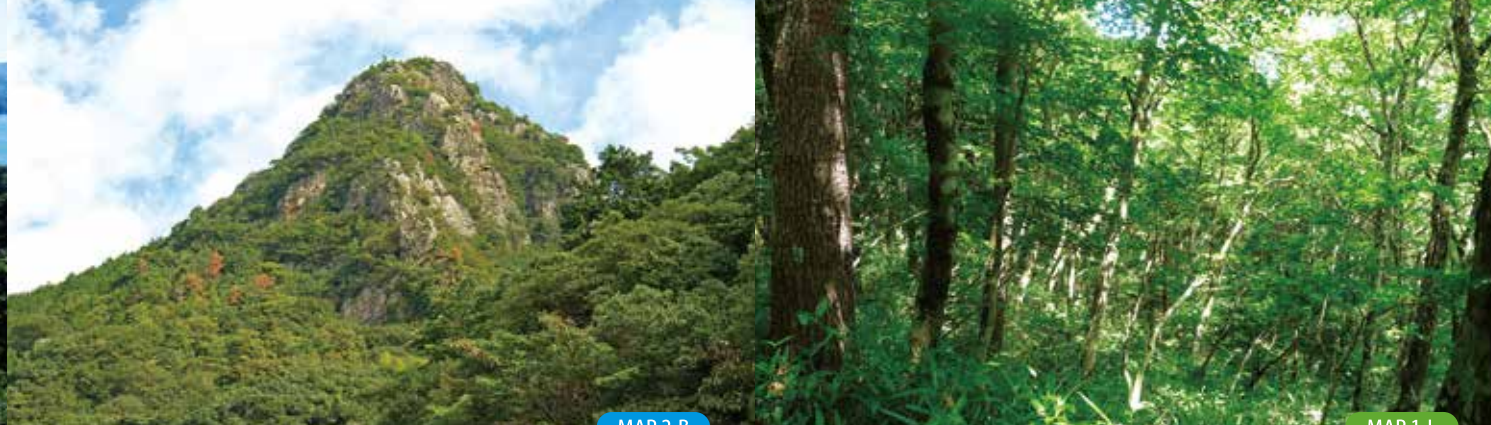
2018.4,改定



MAP 3-A

**R1 須崎海岸**〈北部宇和海エリア〉  
西予市三瓶町周木1-3-1 33°21'49.8"N 132°23'08.3"E

黒瀬川構造帯の一部。縦じまの岩石は火山灰が固まってきた「凝灰岩（ぎょうかいがん）」です。もとは水平だった地層が地殻変動で現在のように垂直の岩壁になりました。300mほどの遊歩道があり、間近で見るその姿は圧巻です。



MAP 2-B

**R3 狩浜の段々畑**〈北部宇和海エリア〉  
西予市明浜町狩浜3-208-5 33°18'57.5"N 132°26'23.0"E

愛媛県南予地方は段々畑で有名ですが、特に狩浜では、珍しい石灰岩の段々畑で美味しいみかんが栽培されています。春には菜の花、秋にはみかんで色づき、白い石灰岩とのコントラストが絶景です。



MAP 2-L

**K2 源氏ヶ駄場**〈四国カルスト・舟戸川エリア〉  
西予市野村町大野ヶ原156先 33°29'43.6"N 132°51'58.2"E

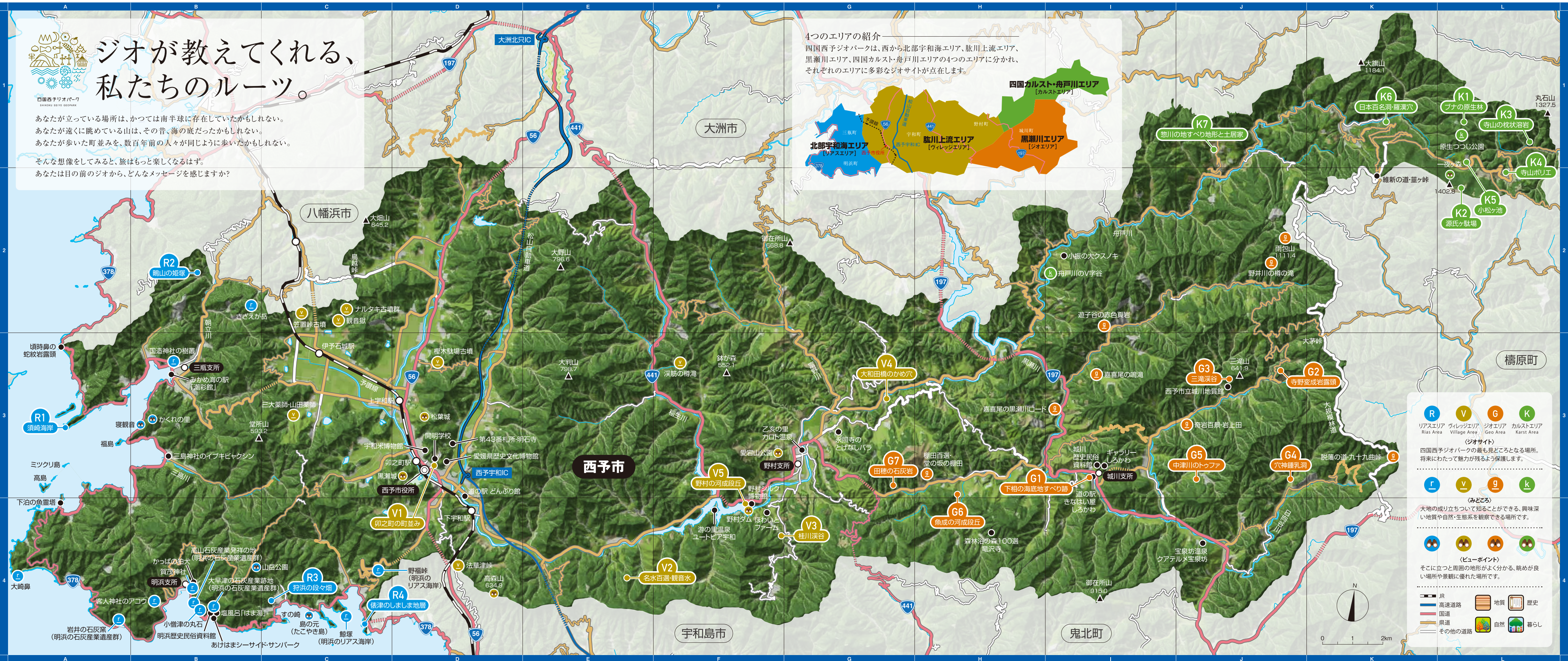
日本三大カルストの一つ四国カルスト。その西端、標高1,402mの最高点からは四国西南部の山並みを一望できます。その地名は源平の戦いに敗れた平家の残党が、白い石灰岩を源氏の白馬と見誤ったという伝説に由来します。



MAP 1-J

**K7 惣川の地すべり地形と土居家**〈四国カルスト・舟戸川エリア〉  
西予市野村町惣川11290 33°28'38.7"N 132°46'46.6"E

かつて土佐と結ぶ街道の宿場町として栄えた惣川地区。山から続く緩斜面は大きな地すべりで形成されました。惣川地区にある土居家は文政10年（1827年）に建築された四国最大の規模を誇る木造茅葺民家で、建物の基礎や庭園には玄武岩が使用されています。



**V1 卯之町の町並み**〈肱川上流エリア〉  
西予市宇和町卯之町三丁目106 33°21'50.6"N 132°30'49.8"E

江戸時代から昭和初期にかけての町並み。白壁や格子窓が特徴で国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。蘭学者の高野長英や日本初の蘭方女医となる楠本イネなどの偉人達も暮らしていました。

**V2 名水百選・観音水**〈肱川上流エリア〉  
西予市宇和町明間3478 33°20'15.9"N 132°35'02.1"E

全国名水百選にも選ばれた鍾乳洞からの湧水。日量平均8,000トン、水質は弱アルカリ性で、四季を通じて14℃の水温に保たれています。夏季にはそうめん流し「名水亭」が営業されています。 ☎0894 (67) 0013 ※名水亭

**V3 桂川溪谷**〈肱川上流エリア〉  
西予市野村町野村17-59-3 33°21'15.0"N 132°38'26.2"E

深い緑のなかに澄み切った清流が美しい溪谷。「チャート」とよばれる硬い岩石を谷が刻み、一帯には岩壁や滝、奇岩が連なっています。かつて乙御前という姫が身を投げたという悲しい伝説も残ります。

**G3 三滝溪谷**〈黒瀬川エリア〉  
西予市城川町窪野2087 33°24'34.0"N 132°47'29.0"E

黒瀬川構造帯を構成する「三滝火成岩類」の模範地となっており、代表的な岩石を見るができます。溪谷美も圧巻で、整備されている遊歩道沿いに、小さきさまざまな滝と四季折々の自然を楽しむことができます。

**G4 穴神鍾乳洞**〈黒瀬川エリア〉  
西予市城川町津南3612 33°23'04.8"N 132°49'07.3"E

中生代ジュラ紀の石灰岩でできた全長約300mの鍾乳洞に75mの遊歩道が整備されています。石筍、石柱が大切に保存されており、ミステリアスな鍾乳洞の世界が広がっています。入場は要予約。 ☎0894 (83) 1008 ※JA川津南出張所

**g 奇岩百景・岩上田**〈黒瀬川エリア〉  
西予市城川町窪野7513-1 33°23'55.1"N 132°46'48.5"E

三滝川のほとりにある石灯籠の目印となる高さ約5mのチャートの岩。その岩の上にある窪みのわずかな面積を利用し、稲づくりが行われています。少しの農地でも大切にしようとする人々の気概が伝わります。



MAP 3-D



MAP 4-E



MAP 4-F



MAP 3-J



MAP 3-J



MAP 3-J